

令和元年6月6日

保護者の皆様へ

北海道滝川西高等学校長 菅原史彦

開校記念日と開校記念樹「プラタナス」について（ご紹介）

薄暑の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日ごろから、本校教育にご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

さて、すでに配布しました年間行事予定表のとおり、6月10日（月）は本校の「開校記念日」となります。本校は、昭和48年に学校法人今野学園滝川商業高等学校から滝川市立に移管し、北海道滝川西高等学校と改称しましたが、この開校記念式典が行われた日を「開校記念日」と定め、今年が47年目になります。

昭和48年6月10日の記念式典当時、滝川市関係者・教職員・生徒会の生徒たちが中心となって、本校の発展を願い市樹である8本のプラタナスを記念植樹したと記念誌に記載されています。残念ながら半数以上は朽ちましたが、現在、野球場とソフトボール場の間に3本が生き活きと年輪を重ね、本校生徒を見守ってくれています。

開校記念日に際しまして、このことをご紹介いたしますとともに、想いのこもった記念樹を今後も大切にし、語り継いで参りたいと思っております。

保護者の皆様におかれましても、ご来校の折に、是非、ご覧いただければ幸いです。

-----校章と開校経緯の碑について-----



本校校章は、昭和48年4月13日当時の職員・生徒から募集した図案を基に起案し、5月2日に決定、6月10日の開校記念式の当日、校旗とともに発表、制定されたものです。

図案は、市樹のプラタナスの葉に市章、WESTの頭文字Wを配したもので、滝川市の自然と調和し、向学の志を高揚しようという気持ちを表しています。

右写真の石碑は、生徒玄関前校庭にある今野学園顕彰の碑（左奥）と開校記念式典に滝川市が建立した開校経緯の碑（手前中央）です。

※ なお、今年度は、この地に滝川商業高校が開校（S34.4.1）して、60周年を迎えましたので、合わせてご報告いたします。

